

しゅわ 手話であいさつ

えがお うんぜんし
笑顔あふれる雲仙市



しゅわ め み ことば みみ き き ひと じぶん
「手話」とは目で見る言葉です。耳が聞こえない、聞こえづらい人が、自分
いし たにん つか はくく ひと げんこ
の意思を他人に伝え、コミュニケーションするために育んできた一つの言語
です。

うんぜんし へいせい ねん がつ にちうんぜんし しゅわげんごじょうれい せこう しゅわ
雲仙市は、平成31年4月1日雲仙市手話言語条例を施行しました。手話
ふきゅう つか かんきょう き ひと りかい
の普及と使いやすい環境づくりのため、聞こえない人のことを理解し、いつ
でも、どこでも、だれでも自由に手話を使ってあいさつができる、会話ができ
えがお うんぜんし めざ
る、笑顔あふれる雲仙市を目指します。